



【写真①】
試験概要
実施場所：愛媛県松山市内かんきつ園
散布日：2019年5月29日および6月9日

【試験方法】
薬剤散布の後、一定期間を空けて、2枝／樹に各枝当り5頭を放虫し、玉ねぎネットで密封（写真①）した。
【調査方法】
各区のネット内における、生存数、死亡数、苦悶数を調査した。

かんきつの**ゴマダラカミキリムシ**を対象に社内試験を実施。
アクセルフロアブルの**高い残効性能**が示されました！

殺虫剤

アクセルフロアブル

Ishihara Bioscience Japan Ⅱ 石原バイオサイエンスの略
IBJ防除情報

調査月日

試験① 5月29日散布

散布15日後に放虫し、7日後に調査

散布22日後に放虫し、6日後に調査

試験② 6月9日散布

散布4日後に放虫し、7日後に調査

散布11日後に放虫し、6日後に調査

調査結果

※生存数、死中数、苦悶数は
各区2枝／樹当りの合計(10頭)

試験①

薬剤	散布22日後			散布28日後		
	生存数	死虫数	苦悶数	生存数	死虫数	苦悶数
アクセルフロアブル	0	8	2	3	7	0
対照A剤	6	4	0	8	1	1
無処理区	10			10		

試験②

薬剤	散布11日後			散布17日後		
	生存数	死虫数	苦悶数	生存数	死虫数	苦悶数
アクセルフロアブル*	2	4	4	0	9	0
対照A剤*	5	3	1	5	4	1
無処理区	10			10		

*：区により脱出した個体があり、調査虫数の合計が10頭に満たない



デザインリニューアル！
令和元年10月31日発行
第100号

対照A剤



アクセルフロアブル



食害調査

アクセルフロアブルは
対照剤と比較して
食害程度が小さい

食害調査（6月20日：放虫7日後）



センチユウ検定サービス実施中！

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ量を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。
詳しくは弊社担当者へお問い合わせください。

知って得する?! コラム

蝶と蛾の違いについて

形態的な見た目の違い

①体色・羽の色彩
昼行性で視覚の発達した蝶と、夜行性でフェロモンに頼ってパートナーを見つけるため(オスのみ)触覚は特化したが体色は地味な保護色の蛾。ともに例外があります。

②止まり方
蝶は羽を立てて止まりますが、蛾は広げて止まります。ただし、蝶でも体温を上げようとする時やタテハチョウの仲間の多くは羽を広げて止まります。

③触角の形
蝶の触角は先端部がマツチ棒のように膨らんでおり(セセリチョウを除く)、蛾の触角は先端に行くに従って細くなり、細い毛で覆われている(オスのみ)ものも多く、繊細に出来ています。日本の場合、これが一番顕著な差です。

④翅棘(しきよく)の有無
蝶も蛾も、前翅と後翅を一枚の羽のように動かして飛びます。蝶では、後翅が前に張り出しています。蛾では、一部を除き翅棘(後翅から引く掛ける棘が出ており、前翅に繋がっている)が付いています。

⑤その他
蛾は胴体の太いものが多いです。気温の下がる夜に活動するために鱗粉よりもたくさん毛に覆われているものが多いようです。鱗粉のはがれやすい種類も、蛾に多いようです。



▲ 蛾



▲ 蝶



◀ 蝶の触角

長い、アタブロン乳剤やアクセルフロアブルをおすすめします。

②繭(まゆ)を作るか
蝶は繭を作りますが、蛾は繭を作ります。但し、蝶でもウスバアゲハの仲間は繭を作ります。

①夜間活動
一般的に、成虫の蝶は昼間に飛び、蛾は夜に飛びます。作物に被害を与える蛾の幼虫も、ヨトウムシ類のように夜間活動するものが多いです。勿論例外も多く、特に昼行性の蛾は多くいます。

生態的な違い

作物栽培では時に厄介者の「蛾」、一方で子供にも人気の「蝶」。両者の見分け方について解説します。
蝶と蛾には様々な相違点がありますが、それぞれに例外も多く、極論すると全てチョウ目では区別は出来ないとも言えます。現に、国によつては区別していない所(フランスやドイツ等)や、セセリチョウ科だけを別に扱う所も有ります。
その上で、国内の場合にあえて区別をすると次のような点があります。

チョウ目害虫の対策剤

弊社のチョウ目害虫対策剤には、脱皮阻害剤のアタブロン(乳剤・SC剤)、神経伝達阻害剤のアクセルフロアブル、合成ピレスロイド剤のテルスター(フロアブル・水和剤)、BT剤のトアロー(水和剤CT・フロアブルCT)等があります。

効率的な防除には、特に生態的な点に注意する必要があります。例えば、ヨトウムシ類等、夜間に活動、食害するチョウ目害虫は、日中は食害は確認できませんが、害虫そのものは土中に隠れていて見えない為、防除が遅れやすくなります。

摂食毒性が高く、残効の比較的高い、アタブロン乳剤やアクセルフロアブルをおすすめします。

石原の農薬 適用拡大情報

2019年10月1日〜10月31日までの間に適用拡大となった農薬は次の通りです。

(傍線部が変更点)

10月23日 適用拡大

アタブロン乳剤

★本内容は使用制限となる負の適用拡大です

〈作物名の削除〉
作物名「てんさい」を削除する。

〈使用上の注意事項の変更・追加〉
以下を削除する。

てんさいに対して希釈倍数1000倍で散布する場合は少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。



ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>